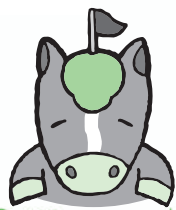




自然を愛し、
人にやさしいまち



広報おげと
KETO

2020 **2**

感謝と希望を胸に、二十歳の誓い



特集 置戸町成人祭



祝 ご成人

「成人の日」を翌日に控えた1月12日、令和2年置戸町成人祭が中央公民館で行われました。二十歳の門出を迎え、大人への一歩を踏み出した新成人の「今」をスナップ写真とともに紹介します。

慣れ親しんだ故郷で成人式を迎えようと、華やかな振り袖や凛々しい羽織袴、スーツ姿の新成人24人が集まり、大人の仲間入りを祝いました。式典では、はたちの集い会長の蓑島雪人さんが、昨年の同会長齊藤陸さんから営火を受け取り、誓いの言葉とともに一人ひとりが手にしたキャンドルを灯していきました。また、柏原大樹さん、谷川慎さん、齊藤伽奈さんが、これまでの思い出と両親への感謝の言葉、将来への夢をつづった文章をそれぞれ朗読しました。元置戸中学校の後藤聡太教諭は、教え子たちの晴れ姿を前に、あたたかいエールを送りました。式典後、記念撮影や交流会が行われ、和やかなひとときを過ごしました。



両親や友人への感謝、二十歳になった思いを語る谷川慎さん



引き継いだ営火とともに成人としての社会の役割を胸に誓う



北海道日本ハム
ファイターズ置
戸町応援大使の
中田選手、清水
選手からお祝い
メッセージが届
きました



私の二十歳の抱負 今の気持ち、将来の夢は？

おくやま
奥山

あかり
さん

(学生)



【二十歳の抱負】4月から社会人。自分の行動に責任をもてるようにしたい！

【両親へのメッセージ】これからも迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくお願いします。

かけはし
椋

こうた
虹太
さん

(畜産業)



【二十歳の抱負】仕事も自分なりに頑張り、何事にも挑戦していきたい！

【両親へのメッセージ】まだまだ勉強不足ですが、一生懸命仕事についていきたい。

こんた
近田

かなで
奏
さん

(介護士)



【二十歳の抱負】4月から職場に後輩ができるので、指導をしていきたい！

【両親へのメッセージ】これからも仲良く健康でいてください。

みのしま
蓑島

ゆきと
雪人
さん

(学生)



【二十歳の抱負】社会に貢献できるモノづくりを目指して学業に励みたい！

【両親へのメッセージ】今までありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

ふるさと、応援します！東京ふるさと置戸会の集い



首都圏に在住する置戸町出身の方々などで組織された「ふるさと置戸会」（石井敏明会長）の2020・令和2年の集いが1月25日、東京都内の主婦会館プラザエフで開催され、総勢81人が参加しました。

同会は、全日本綱引選手権大会に出場した「置戸人間ばん馬」チームの応援に駆けつけた置戸町出身者によって、同郷人の親睦とふるさとの応援を目的に昭和59年11月に結成されています。

町からは井上町長ほか9人が参加。総会では、石井会長が同会を通じて置戸を応援していきたいと挨拶しました。続いて井上町長は、2020年東京五輪・パラリンピックの選手村交流施設に提供した町産の森林認証材について「建物解体後に町に返還されるので、レガシー（遺産）として活用していきたい」と話したほか、町の事業や近況を報告しました。続く祝宴は、岩藤議長の乾杯の音頭でスタート。各円卓で、ふるさと談義に花を咲かせ、旧交を温め合いました。

ふるさと特産品還元事業の報告

「N43.46ふるさと協力会」（宮井國夫代表）から、ふるさと事業の報告と合わせて、町に対して3万35円の寄附がありました。本事業は、会員から1万円の会費を募り、ふるさとの特産品として野菜やワインなどを還元するもので、平成18年度からスタートしました。会費の余剰金は町へ寄附されており、これまでの総額は66万35円。

宮井代表から「14年間続いた事業ですが、今回で終了します」との報告に会場から長年の活動を労う拍手が送られました。

笑顔で肩を組み、「故郷」を唱和

会場では、町教育委員会社会教育課から借用した昭和20～50年代の年代ごとの4枚の住宅地図が掲示されました。当時住んでいた場所を指でなぞり、「懐かしい」と見入る人や写真を撮るなどそれぞれに思い出を語り合いました。また、榎並和昭事務局長補佐の司会で福引抽選会などが行われました。最後にキーボードの伴奏に合わせて、全員で「故郷」を歌い、祝宴を締めくくりました。



当時の住宅地図を前に
思い出話が次々と



肩を組み、故郷を唱和（左から3番目が宮井國夫さん）

加入の呼びかけを

ご家族や友人などで東京圏に転出された方に、ぜひ加入を呼びかけてください。

【詳細】 置戸町ふるさと運動推進協議会事務局
(まちづくり推進室地域情報係 ☎52-3312)



再発見！おけとの魅力 おけとの ポスター 制作中です

町では、まちの魅力を町内外に発信するPRポスターとポストカードを制作中です。これまで「置戸町を知る・知ってもらうこと」を目的として、地域の方とともにおけとの魅力とは？おけとらしさとは何か？を協議しながら進めてきました。

今回は3月完成予定のポスターとポストカードの制作について紹介します。

〇何のためにつくるの？

置戸町。このまちを知っている人は、町外の方ではあまり多くはないでしょう。「オキトマチって読むの？」、「このまちはどこにあるの？」、「このまちには何があるの？」、そんな質問にあなたならどう答えますか。

人間ばん馬やオケクラフトのポスターはあるけれど、「置戸町」をPRする広告物はありませんでした。「置戸町」を知ってもらう、そのための広告物として今年度で「ポスター」、「ポストカード」を制作することになりました。

〇どんなポスターをつくるの？

ふるさとの魅力をPRするポスターは、全国各地にあります。美しいもの？おいしいもの？置戸町の魅力は何でしょうか？おけとの風景写真をポスターに盛り込むことは決めていましたが、いつ？どこで？何を撮る？…など白紙の状態でした。

そこで、デザインに関わる仕事やおけとの自然風景に詳しい地域の方に協力を仰ぎ、さらに置戸町出身のデザイナーとともにおけとの魅力について意見を出し合い、どのようなもののがいいのか、協議しながら一から創り上げていくことになったのです。

○どんなことを話し合ったの？

制作にかかわる地域の方は、オケクラフトマン・嶋谷裕明さん、フライフィッシングやふるさとカレンダーなどの風景写真撮影に携わる多田和弘さん、どま工房秋岡資料研究員・那珂琴絵さんの3人。

ポスターのデザインは、置戸町出身デザイナー・白幡笑美さん（㈱北日本広告社北見支社所属）、写真撮影は、フォトグラファー・田口真樹子さん（北見市在住）にお願いしました。

制作会議は、これまでに7回開かれ、ポスターを作る目的やテーマ、撮影する場所を協議しました。会議のほかに町内行事の参加や写真撮影に同行するなど、机上だけでなく、おけとの空気感を大切に、制作会議のメンバーが情報共有できるような体制を作りながら話し合いを進めました。



撮影する田口さん（平成31年2月鹿の子沢）

このような中で、田口さんが撮影したおけとの四季折々の風景は、私たちに新たなおけとの発見と魅力、ひらめきを与えてくれたのです。

さらに、置戸町出身の児童文学作家・澤井美穂先生にご協力いただき、おけとの四季をテーマにした4つの素敵な物語をポストカードに寄稿いただきました。おけとの風景にショートストーリーが添えられ、より深みのあるポストカードにすることができました。

ポスターの基本となるコンセプト（考え方）は、1、つながり 2、五感プラスアルファ 3、再・新発見の3点としました。写真の選考やデザイン、キャッチコピー、ロゴマークには、この3点を感じられるものかどうかを基準としました。

ポスターに使用する写真は、制作会議で選考され、選ばれた写真を使用した複数のデザイン案が白幡さんから提案されました。デザイン案は制作会議で意見を出し合い、選考後、役場内でアンケートを行い、町職員からも意見を集め、最終決定に向けての参考

としました。

このような過程を経て、最終案として選ばれたのは、「鹿の子沢の三本桂」、「シロハヤブサ」（ロベルト・ベッシン氏が制作した彫刻、おけと勝山温泉ゆうゆ前に設置）の2作品となりました。



制作会議の様子

○完成は3月、今後のPRに写真など活用

現在、ポスターとポストカードは、最終調整後、印刷の工程に進んでいます。完成は3月予定。

ポスターは、「三本桂」、「シロハヤブサ」の2種類、サイズはB1とB2の2サイズ。町内施設にも掲示予定です。

ポストカードは「おけとの四季」をテーマにした風景写真と澤井美穂先生の物語が楽しめる4枚1セット。ポストカードについては、自治会を通して全戸に配布する予定です。また、町外者や追加希望の方には、有料で頒布する予定です。

ポスター・ポストカードで使用するキャッチコピーやロゴマーク、今回の事業で撮影された写真などは、今後、置戸町をPRしていくために使用していきたいと考えています。

最後に、ポスター・ポストカード制作会議メンバーの皆さんにこの事業にかかわった感想や置戸町への思いなどをそれぞれに聞いてみました。

■多田 和弘さん

（自営業・置戸町観光協会副会長）



気が付かなかったことを改めて知ることができて、本当に勉強になりました。田口さんの撮った写真にも「おけとにこんなところがあったんだ」と気付かされました。鹿の子沢の撮影では、三脚を使い撮影するなど技術的にも勉強になりました。自分も撮影の時に

は三脚を持っていくようになりました。

6月に青島弘明さん（オケクラフトマン）と広報の尾藤さんと一緒に風穴の写真撮影に行き、その自然の美しさを再確認。しばらくぶりに森林ウォークの行き先を風穴にしましたが、多くの方に参加していただき、盛況でした。

■白幡 笑美さん

(デザイナー・㈱北日本広告社北見支社所属)



色んなプレッシャーを感じながらのスタートでしたが、地域の方にも協力いただいて、色々な方の意見があって創り上げていけたのは、心から安心できることでした。いろいろな人の思いを背負ってのデザインは、やりがいがありました。

当初、色々なものを提案しましたが、最終的には、「木」と「彫刻」。象徴となるものを選びました。まちづくりのスタート、「リ・スタート」として、このポスターを作ることができて良かったと思います。

■毛利 文彦さん

(㈱北日本広告社北見支社支社長)

地域の皆さんが自分たちのまちをどうするか議論し、思いを込めて、一つの作品が出来上がっていく過程は、とてもドラマティックだったと思います。

作り上げていく期間はプライスレスといえますが、楽しかったり、感動だったり、この会議に参加できたことは、個人的にとっても幸せです。

置戸町を発信するためにポスターとポストカードをいい道具・手段にしてほしいと思います。



■担当者から 来月号にてポスターデザインをカラーでお披露目します。みなさんお楽しみに。

■田口 真樹子さん (フォトグラファー)



住民の方々が「おけとのここがよい！」と思う視点に町外民は適わないかもしれないと思いながらも、置戸町の新たな魅力発見というテーマを元に限られた日程・時間ですが、市街地から山中まで走り回りました。

決定案を見させていただき、個人的ではありますが、これまでの自分の写真業を見つめ

■那珂 琴絵さん

(ども工房秋岡資料研究員)



私は町外からおけとに来たので知らないところばかりでした。教えてもらって再発見よりも新発見が多く、今後につながっていけると感じました。

話し合いの中から田口さんの写真教室(公民館教室)や夏の星空撮影(※天候不順により撮影はできず)などにつながりました。全然違うことをやっている人の情報があって、新しいことをやっていくというのが私としてはありがたかったです。

■嶋谷 裕明さん

(オケクラフトマン)

当初は漠然と置戸町をイメージしていましたが、田口さんの写真や白幡さんのデザインを見て、自分が知らないすごいところを知ることができました。おけとの良さを再認識できたと思います。そして、もっと知りたくなりました。

例えば、星はきれいだけど、自分で撮っても楽しいということもわかりました。自分の固定観念を覆す楽しみがあることを知りました。

今回は広告ということでしたが、自分が仕事でやっている中でも、楽しい展開になるのでは。自分が向き合っていた部分にもっと向き合ってもいいのではないかと、勉強になりました。



直す良い機会となりました。また、今後どのようにステップアップしていくのかという答えが見えて来たような気がいたします。

人から見て、例えドラマティックな場面ではなかったにしても、「この日この時この場所に出会えたのは私だけ」と奮い立たせて撮影した場面が沢山ありました。今後、置戸町さま制作会社さまのご了承が得られるならば、益々の置戸町発展を願って披露できたらと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

1/5 置戸消防団消防出初式



厳寒の中、きびきびとした姿の消防団員

1/7 置戸小学校百人一首かるた大会



読み手・細川昭夫さんの声に耳を傾けて

ひとまち おけと

1/28 どんぐり雪中運動会



ミカンを目指してかけっこ、
笑顔いっぱいのどんぐりっこ

2/5 南ヶ丘スキー場、待望のオープン



おまちかねスキーシーズン到来!



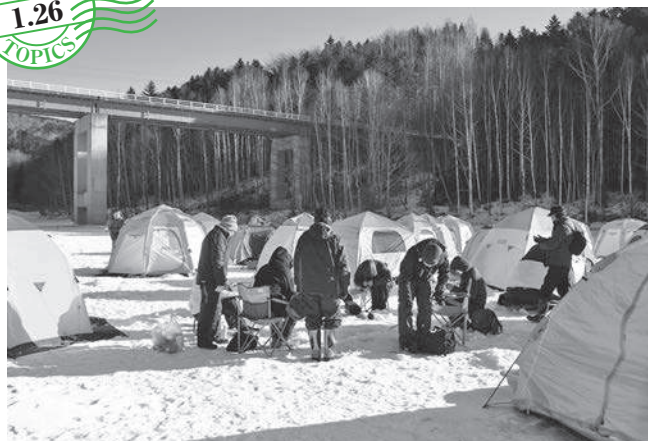
選管委活動を讃え、枝崎幹雄さん総務大臣感謝状

平成3年から20年にわたって町選挙管理委員会委員を務めた枝崎幹雄さんに、総務大臣感謝状が贈られました。伝達式は、12月24日に役場で行われ、井上町長から感謝状が手渡されました。この感謝状は、選挙制度130年を記念し、各種選挙の適正な執行と明るい選挙の推進に尽力してきた方に対し贈られるもので、道内から14人が選ばれました。



交通事故死ゼロの誓い、交通安全住民大会開催

町内での交通事故死ゼロの日数が、1000日達成を記念し、交通安全住民大会が中央公民館で開かれました。大会には小学生32人のほか関係者約45人が参加。はじめに交通事故死者と1月に急逝した緑川一利置戸駐在所長に黙とうが捧げられました。最後に会場玄関前で、新目標の1500日を目指して和田新さんら3人の小学生が、アイスキャンドルを点灯後、交通安全を誓い決意表明をしました。



冬の風物詩、おけと湖氷上ワカサギ釣り

町観光協会主催の第35回おけと湖氷上釣り大会が1月26日に開催され、町内外から58人が参加し、厳寒の中で釣果を競いました。2時間で釣ったワカサギの数を競う「ワカサギ大漁賞」の一般の部で、上川町の平松好郁さんが58匹で優勝を飾りました。「大物賞」はニジマス150gを釣り上げた遠軽町の古沼久朋さん。「釣女賞」は25匹を釣り上げた訓子府町の斉藤晴美さんが受賞しました。



乳牛を寄贈、田中眞さん高知県教育委員長感謝状

毎年、北海道高知県人会や農業関係者が協力の下、高知県の農業高校生が夏に来町し、農業体験学習事業を実施しています。長年、高校生の受け入れをしている田中眞さん（常盤・酪農業）は、県立幡多農業高校に乳牛4頭を寄贈するなど支援してきました。1月28日、同高校の橋田正人学校長らが来町し、田中眞さんの多大なる支援活動に対して、高知県教育長感謝状が手渡されました。



北海道日本ハムファイターズの活動『北海道179市町村応援大使』と北海道各市町村のモチーフをプリントした『ジモトート』がコラボレーション！『ジモトート』の新シリーズ展開候補となる18市町村を対象とし、クラウドファンディングサービスでサポーターを募集。目標金額に達成した場合は『ジモトート』が商品化されます！

ファイターズ応援大使と

18市町村オリジナル

ジモトートで

『じ・も・と』を
応援しよう！

一緒に

北海道179市町村応援大使×ジモトート

クラウドファンディング企画 © H.N.F.



1
STEP

募集 (3月末まで)

クラウドファンディングで
「限定ジモトート」の製作に必要な費用
をサポーターから募集！

支援 1市町村あたり20万円～
金額 ※1口2,000円→計100口以上

支援金額に達成すれば

限定ジモトート製作決定！

2
STEP

ご意見収集

支援するサポーターの方から
ジモトートのデザインに加えたい、
地元ならではのモチーフ
(名物、建物、景観、取り組みなど)
をメッセージいただきます。

【例】千歳市の場合…



3
STEP

デザイン

ジモトート担当デザイナー
がサポーターの方々から
いただいたメッセージを
参考に限定ジモトートを
デザインします。



サポーターのご意見をぎゅっと凝縮！



ファイターズ応援大使コラボ企画 **限定ジモトート**

直径
約57mm!

コラボ企画限定 3種の缶バッジ付

- ・応援大使の選手缶バッジ (2～3ヶ)
- ・応援大使ロゴ缶バッジ
- ・JOMOTO缶バッジ



© H.N.F.
※画像はイメージです。



「ファイターズ応援大使と一緒にジモトートで『じ・も・と』を応援しよう！」公式サイト

くわしくは

<https://actnow.jp/feature/jimotote2020>



ファイターズ ジモトート

検索

【お問い合わせ】

株式会社 ジムニーワークス ☎ 011-200-9076 (平日10～18時)
置戸町役場まちづくり推進室 地域振興係 ☎ 52-3312

わが家の アイドル



はるき ●5歳1ヵ月
●本町
南 治希くん
南 公一郎さん・加奈さんのお子さん

ウルトラマンになりたい!

最近お気に入りの遊びは、La Q（ラキュー）やレゴブロックなどの好きな形を作って遊ぶブロックです。お誕生日プレゼントにもらったLa Qでお父さんと一緒にカブトムシやトリケラトプス、竜などを作り、部屋に飾っています。スポセンでお友達とボール遊びや図書館でお母さんに絵本を読んでもらいます。好きな食べ物は、イチゴ、ハンバーグ、バナナ。最近楽しかったことは、旭川で歩くスキーをしたこと。夏のクワガタ探しも楽しかった思い出です。将来の夢はウルトラマンになること。そんな治希くんのことをお母さんは「のびのびと明るく育ててほしいです」と我が子の成長を温かく見守っています。

今晚つくれる! 食改さんの かんたんレシピ



ひじきと人参の
混ぜご飯

1人分 228 kcal 食塩相当量1.1g

材料(8人分)

ひじき1袋(乾燥30g)、オリーブ油大さじ1、
A【酒大さじ3~4、醤油大さじ2、みりん大さじ1
と1/2~2】、人参1本(140g)、塩適宜、B【卵4
個、酒大さじ1と1/2、砂糖大さじ1、塩少量、酢
大さじ1】、きぬさや適宜、炒り白ゴマ適宜、ご
はん600g程

作り方

- ①水で戻しておいたひじきをオリーブ油で炒め、
Aを加えて汁気が無くなるまで煮る。人参は細切
りにし茹で水けをきいたら軽く塩をふっておく。
- ②Bの材料を混ぜ合わせ、炒り卵を作る。きぬさ
やはさっと塩茹でする。
- ③ごはん、ひじき煮、人参、炒り卵を順に重ね、
ゴマを散らす。
- ④最後に、きぬさやを飾り完成。

ワンポイント

ごはんを混ぜるときは、混ぜすぎないことが綺麗
に仕上げるポイントです。

北海道日本ハムファイターズ球団職員が表敬訪問

12月23日、㈱北海道日本ハムファイターズ事業統轄本部の村上真哉グループ長が、置戸町役場を表敬訪問し、中田翔選手、清水優心選手のサイン入りユニホームと等身大パネルが町に贈呈されました。贈呈品は、中央公民館のロビーに展示されていますので、ご覧ください。



12月23日、
表敬訪問
置戸町役場を



中央公民館ロビーに展示中の贈呈品。等身大パネルを前に記念撮影してみては?

■まちづくり推進室地域振興係 (☎52-3312)



町外の病院受診 ～健康なライフに欠かせません～

今月の担当

高齢者福祉係長
尾崎 順

地域福祉センター・高齢者福祉係
(☎52-3333)

あなたは町外の病院へ通院していますか？
町外病院への通院の手段はどうしていますか？

現在の第7期高齢者保健福祉計画策定時に65歳以上の方を対象にニーズ調査を行い、調査の中で町外病院への受診状況を尋ねました。

町外病院に定期受診している方は50.1%。必要とき受診しているという方の24.8%を足すと7割以上の方が町外病院へ受診していました。通院の手段で一番多かったのは自家用車で70.2%。次いで路線バスが13.3%。タクシーを利用している方は1.9%でした。

町外の病院では整形外科や眼科、耳鼻科を受診している方が多いようです。専門医に早期に受診することや定期受診をすることは病気の早期発見、重症化・合併症予防に重要です。

また、年齢を重ねて車の運転を辞めたり、町内だけ運転する方も多くなったように思います。

今後、町外の病院受診やバスやタクシーを利用する方は、ますます増えていくものと予想され、費用の負担も大きなものとなります。

そこで、バスやタクシーを利用して町外病院を受診する高齢者の方を対象にした交通費助成サービスについてご紹介します。

●置戸町高齢者通院交通費助成事業

75歳以上の方で北見バスを利用して訓子府町や北見市にある病院を受診時の交通費（市内交通費を含む）を助成します。※今年度からバス運賃の3分の1助成が、2分の1助成に拡大。申請は年に3回（4月、8月、12月にまちのおしらせにて掲載）で病院の領収書、印鑑、初めての方は振込先口座番号を持参し、地域福祉センターで申請してください。特別な場合は随時受付も行っています。（要相談）

●置戸町高齢者等介護移送費助成事業

要介護や要支援の認定を受けている、または人工血液透析治療を受けている方で町外病院を受診時、自家用車やバスでの通院が困難な方にタクシー代を助成します。介護保険料段階区分に応じて支払ったタクシー代の6割から9割を助成します。転院や退院、乗車時に利用したストレッチャー等の使用料も助成対象です。事前登録が必要です。まずはご相談ください。

病気の重症化を予防しながら、安心して受診が続けられるよう、利用していただきたいと考えています。令和2年は第8期高齢者保健福祉計画策定の年です。ニーズ調査も行いますので、皆様のご協力よろしくお願いします。

喜びと悲しみ（敬称略）

■ご出生おめでとうございます

- 小山田好貴 男児 聖七（せな） 豊住 12/25
真代
- 伊藤 慎 女児 綺音（あやね） 境野中央 1/6
望

■お悔やみ申し上げます

- 犬飼 チエ子 91歳 常楽園 12/9
- 高橋 辰雄 82歳 若木 1/6
- 緑川 一利 59歳 栄第一 1/12

- 野里 茂光 88歳 北光 1/14
- 山岡 晴美 52歳 勝山公新 1/17

人の動き

- 世帯数 1,418世帯（－6世帯）
- 人 □ 2,831人（－6人）
- 男1,317人（－3人）女1,514人（－3人）

令和2年1月31日現在（ ）内は12月末比

■編集後記：早すぎるお別れに未だ信じられない、信じたくない気持ちです。置戸のためにご尽力いただいた緑川所長、山岡さんに感謝の捧げるとともに哀悼の意を表します。